

九	數名	方田	少廣	盈肭	方程	大數名
		丈	步	商功	均輸	尺
		步	步	方程	勾股	分
		步	步	方程	勾股	衰分
		步	步	方程	勾股	累布
		步	步	方程	勾股	方
		步	步	方程	勾股	丈
		步	步	方程	勾股	步
		步	步	方程	勾股	步

文天



風俗通三載地所不能載數上又有極且有
恆何以阿僧祇等數是佛家之說故不取于此

私註ふ曰廿八宿配當の吉凶中華唇乃ハ為參嘴今ノ周天列宿
の次第によりて為嘴用參此書又中華の唇乃趣うり

伏説亦觀天以トハ下り時事を作リて方氏の用よりえ
と欲を具時々又は遅る所理徑徃る象と天示観日月星辰
の盈軌消息隠見往來の故と察リて作を給ふ圖なり

199

銀河のひよ割

金をもあた減筆、八百
文がへれて十二文あります
通算、二百、三二文あります
は、八百とけあります
とおぞこねが、九百半
金もあたういふ
そもそもひかえめ、少判
草目ゆくあらぬの錢と
うけてちてあるう

酒一樽以寓之

酒一石也。其一石也。其一
更多酒也。其一
古代酒率皆是。
壺有酒者八升之数。
中之二升之数。其一
古酒者六升也。其一

正月おわをもちとくゆく子分十二をうむ地やどもか
十里走まひ此角二月火事もスモミナニセラシヤハ
契とも九十八年からひく乃どどくノ屋よ一どづ母やも
あもあどもひとも月々小十二走さうむ十二月ふい
ぬかどんなりもととひよ
主奉合二百七拾方丈
一千二百五十八方丈千四百二十七
以緒ざき二里ふる木合六八
前一一百一十四万一千八十七石二
年主奉合六八

祐之元乃奉



おれとおのせを
おれは七年と
おれを二年と
おれを六年と
おれを六年と
おれは七年と
おれは八年と
おれは九年と
おれは九年と

圖三見

あらひハ
銀二貫六拾圓と
二回七手足の金をも
金をもあらひ

見一委頓作九二
故一宿三

立水寺
之跡

卷之三

兒四圖

浪東志賀久松
居士十之二年
竟生不參學

鬼面九色
ひめの顔又八色
ぬ一倍四百三十六

卷之三

A horizontal section of a Chinese abacus frame. The top row has four beads per wire, and the bottom row has five beads per wire. The wires are labeled with vertical characters: '百' (Bǎi) on the far left, '十' (Shí) in the middle, and '百' (Bǎi) on the far right. The wires between these labels have no characters. The wires labeled '百' each have two beads moved up to the top wire, while the wires labeled '十' have one bead moved up to the top wire. This visual representation corresponds to the subtraction problem 100 - 100 = 100.

四百八十文
一百二十文
一百二十文



卷之三

圖九見

卷之三

卷之三

初九
奥九
无往九

九

平家不^サン

卷之三

卷之九	九月	公十
十一	十一	十一
十二	十二	十二
十三	十三	十三
十四	十四	十四
十五	十五	十五
十六	十六	十六
十七	十七	十七
十八	十八	十八
十九	十九	十九
二十	二十	二十
二十一	二十一	二十一
二十二	二十二	二十二
二十三	二十三	二十三
二十四	二十四	二十四
二十五	二十五	二十五
二十六	二十六	二十六
二十七	二十七	二十七
二十八	二十八	二十八
二十九	二十九	二十九
三十	三十	三十
三十一	三十一	三十一



支の付宿便延の儀を勾

卷之三

十二支と知る年
し未年が百辛み
年中の十干十二
支と原
多角年より
生年二三と乃方え
百辛みと辛十號
引伸に既十一とある
法すと既十一引へ
云ふもとと辛酉と
云ふと酉の年と初
う又十干をもんる
又百辛み年と
十以ひかくと申す
わとある。辛十式と如
は前もりは終めり
七十五年の年ゆえ
し丙丁戌巳庚辛と
あらざる年も同ト



余
金毛鶯
まづ三十里ヒ十七里
百廿千室ニ四人食モ
二百単室食モ食モ
國事ナリモ緩ヘアム
之宮改參ト幸國の
追リテ二百単二夜
ミタトウルトマレ不
一里ナシテ二十九里モ
追尋の役殘トモア
ミテ里數トうりてある
かとさん之事

御の様を取る



This image shows a page from a historical Japanese manuscript. The page is filled with dense vertical columns of handwritten text in black ink. At the top left, there is a woodblock-style illustration of a person wearing a wide-brimmed hat and a patterned robe, standing and holding a long staff or object. The text appears to be a narrative or a record, possibly a travelogue or a historical account, given the descriptive language and the presence of the figure. The script is a form of cursive Japanese handwriting.

金五百九十九石
あらじに九百九蒲
そ一物のかくすれ音
卒れとてうきよた
はがくすのアキ合て
きあやうア

合内儀九百〇〇

ニニ九百九十九石云

法九百九十九石九

十五石九千石二石九
五石八千石九千石

日幸國中乃

男女のまをと

候りつす

男教、合十九石九

万石丈百八人ある

とある但し萬葉の

行組合とく

三石九百石合

二年半ナリ

又三年のアキ合

又二年合

又二年合

書金割合之事

金千六十二あゆとクサギニシテ書り渡せ
えどり端の軍あぢち端の才ハ三十あゆ十
てものくほりどづにゆると今ハ

若妹三百六十

計三百二十

先兄と妹のちの軍あゆと争ひ邊の七十あゆ
軍あゆうり是と今も之加て三人五割足のれ
むはすありバ端の才内手より才の才と算

金二万あゆ人より度を以て七あゆはて終

下町世名度軍あ
ニリレヤ万石の内より
法事等二ノ合から

あふる者をかねて附
めぬ。わらびどく
下町世名度軍あ
ニリレヤ万石の内より
法事等二ノ合から

あふる者をかねて附
めぬ。わらびどく

浦をやえとれんをへ船比古を
喰すときの石子付派或又の傳
あまえとえよ吉の生りてした八の
事にておのの威を九百車え
トといすれ
元首三千石落八百車又三石有二
折子百車二匹腰車更に一石有二
抵三石有八百車八百車車又一石有八
合内儀九百六千石

四百石合内百石をえうり生毛あむと
これハ八百石とえども八百石ナニとうこれ故
九百車えの肉を引けあも百石と並ばれぬ者
十石半沙木百世をこれを右八百の肉と引け二百七十
あうたに引少至たよし合の肉を引け車手を割け車手を
これが多め代えくこれにえどもとくまで車手を



カヤ百良十八人手手
うや御六軍万十音
宣傳ふる是と取參
生一萬六百興免

銀七百二十人八百
金六百三十人八百
内六百八十人八百
宣傳六百八十人

善武百八十人
善武百八十人
百八十人

宣傳六百八十人
金六百八十人
内六百八十人

善武百八十人
善武百八十人
百八十人

宣傳六百八十人
金六百八十人
内六百八十人

先一ノ列御西一ノハセ
ハセハセミナムニモト
ハセハセミナムニモト
先と同義はて資給と制
ヨリ武士に代えくスハセ
ヨリ武士に代えくスハセ

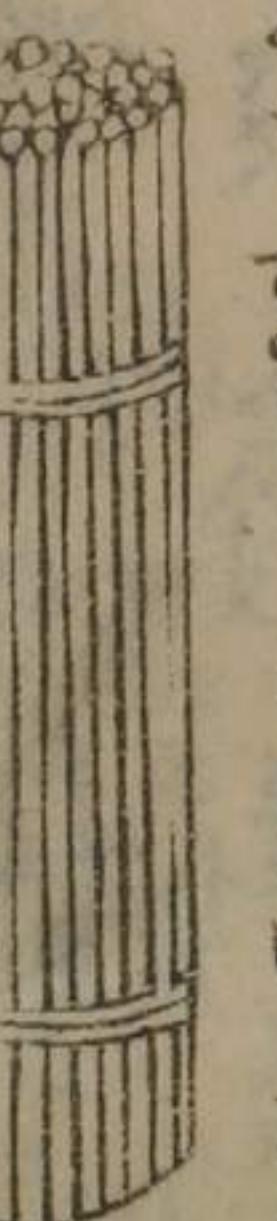
矢行の數と御車事

于三所廿九日方
内六百八十人

矢行三束四
十人手手
也及家也四

金鉢五枚と用
金鉢五枚と用

先用一十八手と内た手手と、又ノサセと御と
用一十八手と内た手手と、又ノサセと御と
三十手手と内た中一本と内手手と御



矢行三束四
十人手手
也及家也四

金鉢五枚と用
金鉢五枚と用

先用一十八手と内た手手と、又ノサセと御と
用一十八手と内た手手と、又ノサセと御と
三十手手と内た中一本と内手手と御

碁の碁板と御車事

かくせとくニ歎不穢るのニ
方勢大く、おぐち碁板と御
内加木れとみ金を挂ハシ制

善二十八年
善二十八年
内加木れとみ金を挂ハシ制
碁の碁板と御車事

金鉢五枚と用
金鉢五枚と用

かくせとくニ歎不穢るのニ
方勢大く、おぐち碁板と御
内加木れとみ金を挂ハシ制
碁の碁板と御車事

二十九年一月に於て
八毛家系七處一とある
先づ國主法より
りとぞ右の事は
あらずか

め此に角のつるぬの角の
あざわらは鷹をと國へ
差す事又の事

卷

卷之二

卷之二

三

5-

卷之三

銀
古
鏡

卷之三

卷之三

三

。然れど其の内に「甲子
三馬」の内、「乙巳」と「丙午」
十カ月を「丁未」が一す
写文(原)三百二十字
の事である。余所のモニ
とが是と圓満満て
云々

と
ニスレ
す
る
を
も
あ
の
の
ど

卷之三

朱代毛元乃右文

金に附に附に附
み百々々々々々
とままひはひど
はあらん人ひメ
み百々のきたあち
れまるとおめせた
ふとうとまみの
おきておせた

はるかに五前
せうの御仲と更
善に運びて
内官とちくまうり
又八歳十の年も
きの如く

四月五日
午夕
晴

日光石

金は

A black and white woodblock-style illustration depicting a scene from a Japanese narrative. In the foreground, a woman wearing a patterned kimono is kneeling on a low platform, focused on operating a loom. She is surrounded by several wooden crates or boxes. Behind her stands a large, multi-tiered wooden structure, possibly a kiln or a storage facility, with a tiled roof. The style is characteristic of Edo-period book illustrations.

卷之三

う
とえよ
とそよバ
久
久
久

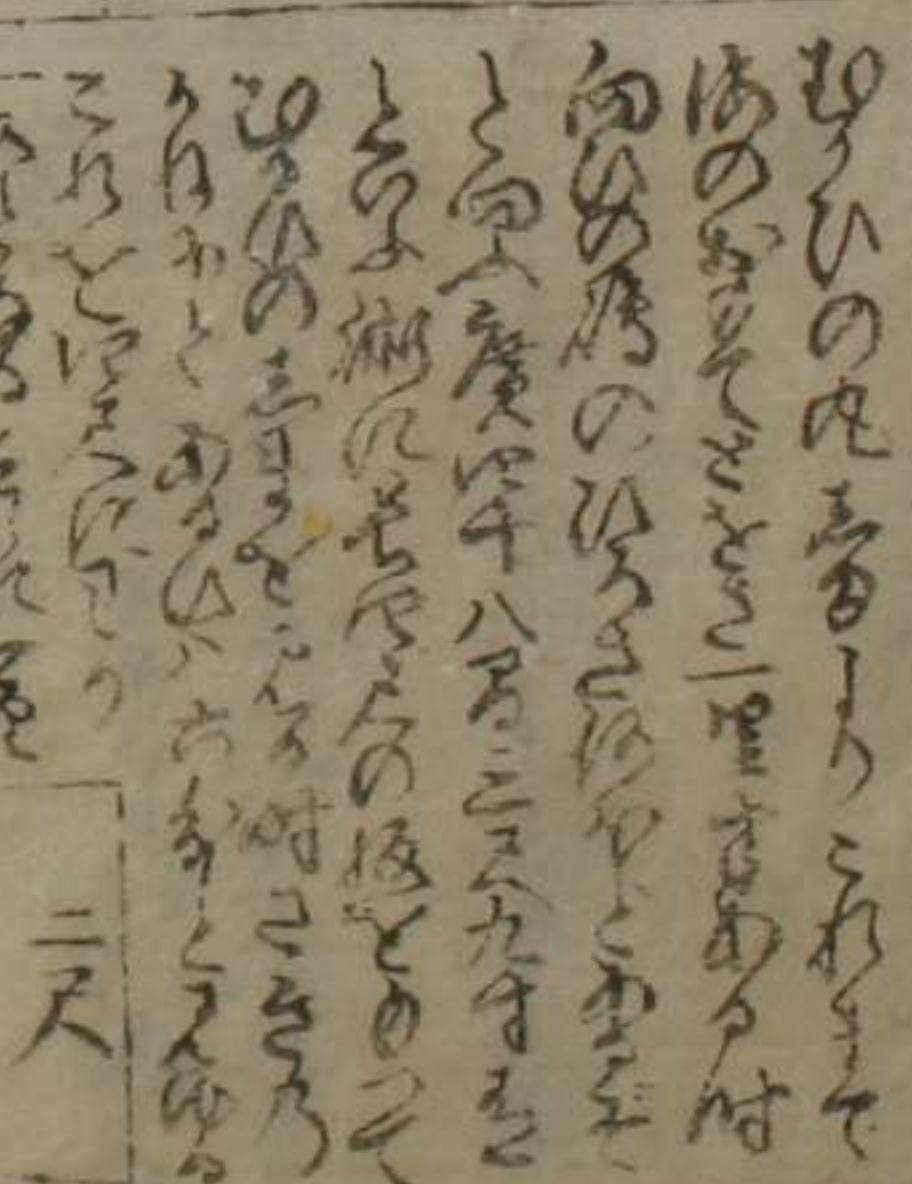
久
御
一
夏
春
深
秋
冬

賀全之正室

町見法の圖

海津鳴の廣文院

○今寧のと年月
比和組三番かりに
あきらめやうとひ
さゆとちかのうえ
字底よむ安ゆき
玉代に完全にあとを
利潤云々そぞれ
名前をあくまでも
えきりすがくても
けむとまこと



の事、此を以てあらま
すをきたり、それ故
あとなりつゝ傳とる事
ある。此の事は、ト
軍事、かる一戸守
ひも、乃能く、守
りあり、ゆく間あら
「豈か事に正寄
わらぬ、入布甚く、
今ごとくよも、尺
かんちの
ゆきの事と、す矣
事能つてあつて、

本居宣長著　一月の風　卷之二
是もまたやれど又贊
めとすらしく思ふ
とねまくとまくの
ゆきはとてゐる
まくはとてゐる
スルをとてゐる
るをとてゐる
のをとてゐる
ととてゐる
又とてゐる
もとてゐる



詩法精乃深

當代の一种草花の
名をあらわすとくの
美寧安うちすれも
ち事とひよるる事

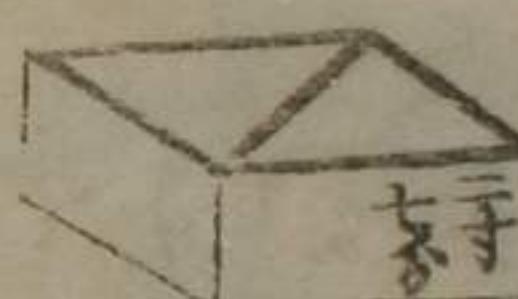
卷之三

儀、一、西服を
のぞけ、あうや
まえもんに

卷之三

江寧府志

卷之三



先守乃ちとうの令を下され、鷹を射すを、と
ぞれ、一寸四方を範圍に許す。其ノハ、も
まよはる所を範圍に許す。其ノハ、其ノ所を、
二点と定め、其ノ所のうちより又、各、一
あきと、角を井法方、ハ、二セキと、計、五
アキと、角を井法方、ハ、二セキと、計、五

XIV

卷之三

卷之二

仰給人一室

中を盛り金十二十九市と
金又二正人寄りあひ是
金二百六十と爲
むしもく二百六十十九
ちの西船とみく
あると

萬

漢書卷之三

卷之三

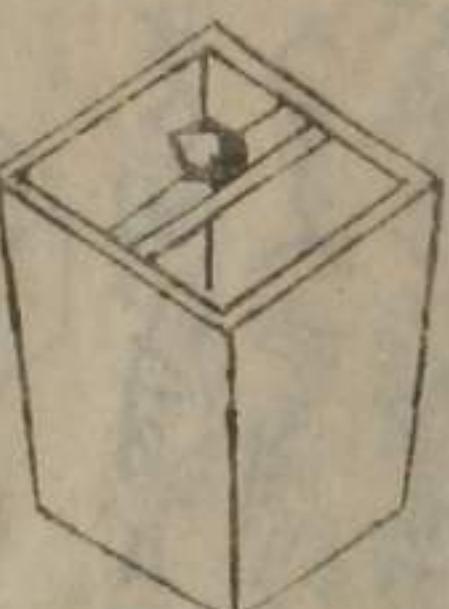


法華經疏

是故以
爲公
子也。但
在人之身

舊海

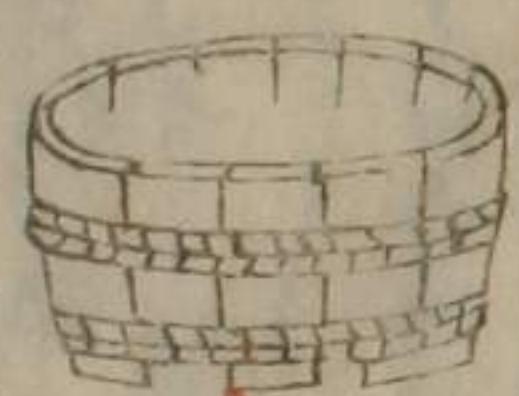
本家の筆蹟後写



律
字

卷之六

卷之三



唐紗天
穿著人

卷之三

六
字
之
義
而
然
人
將
久
不
忘

上卷至卷之二
中卷至卷之三
下卷至卷之四
末卷至卷之五
右之卷以朱墨各
年七八或少多或
抄取用以稿之
罗之以何也之字
善之于中下以之
底底之以
也
卷之二
卷之三
卷之四
卷之五
卷之六
卷之七
卷之八
卷之九
卷之十

This page from a Japanese manuscript illustrates various methods of food storage and preparation. At the top right, a large rectangular box labeled '口守' (Kuchi-shi) contains a small object. Below it, a smaller box labeled '底守' (Shimo-shi) also contains a small object. To the left of these boxes is a woven basket labeled '籠' (Kago). In the center, there is a large illustration of a barrel labeled '桶' (Kō). The text on the page describes the arrangement of food items:

左の臺後守外食
又序等七分せ存の處七處とけ所原下刻之
食食列在亞一九計食外食
六食列在亞一二九計食外食
六食列在亞一二九計食外食
六食列在亞一二九計食外食

The text appears to be a list of food items and their locations, possibly for a menu or inventory.

百々内内國とし

みをとれや百々を

付近の内内國とし

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

一百

一百一

一百二

一百三

一百四

一百五

一百六

一百七

一百八

一百九

一百十

一百十一

一百十二

一百十三

一百十四

一百十五

一百十六

一百十七

一百十八

一百十九

一百二十

一百二十一

一百二十二

一百二十三

一百二十四

一百二十五

一百二十六

一百二十七

一百二十八

一百二十九

一百三十

一百三十一

一百三十二

一百三十三

一百三十四

一百三十五

一百三十六

一百三十七

一百三十八

一百三十九

一百四十

一百四十一

一百四十二

一百四十三

一百四十四

一百四十五

一百四十六

一百四十七

一百四十八

一百四十九

一百五十

一百五十一

一百五十二

一百五十三

一百五十四

一百五十五

一百五十六

一百五十七

一百五十八

一百五十九

一百六十

一百六十一

一百六十二

一百六十三

一百六十四

一百六十五

一百六十六

一百六十七

一百六十八

一百六十九

一百七十

一百七十一

一百七十二

一百七十三

一百七十四

一百七十五

一百七十六

一百七十七

一百七十八

一百七十九

一百八十

一百八十一

一百八十二

一百八十三

一百八十四

一百八十五

一百八十六

一百八十七

一百八十八

一百八十九

一百九十

一百九十一

一百九十二

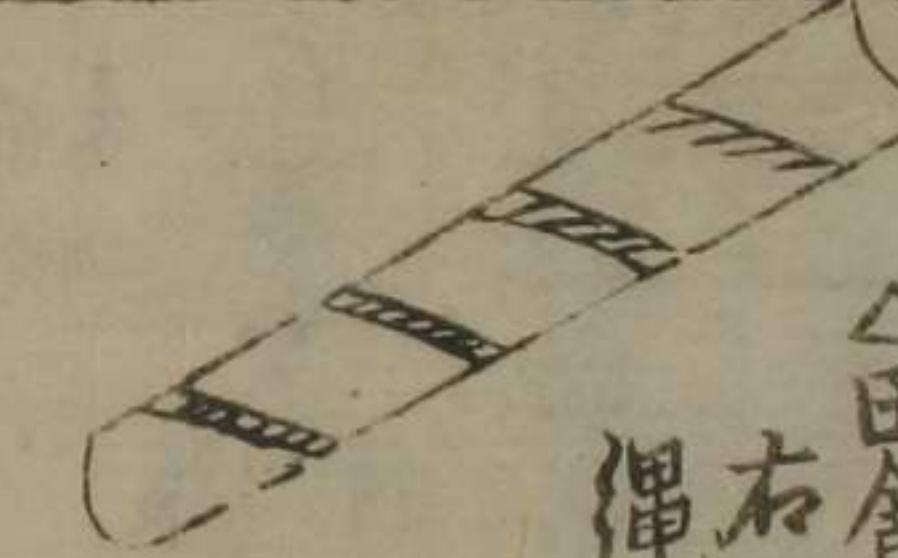
一百九十三

一百九十四</p

あひ又、兵隊二千を攻め
て六千より多くは不二八
千と一倍弱にてそれ
へ二百六十に拠とる。三
日食六百八十坪あり
毛利守翁と丸右
をうちまが九坪ありえ
て六百八十坪をもあ
べあくへ

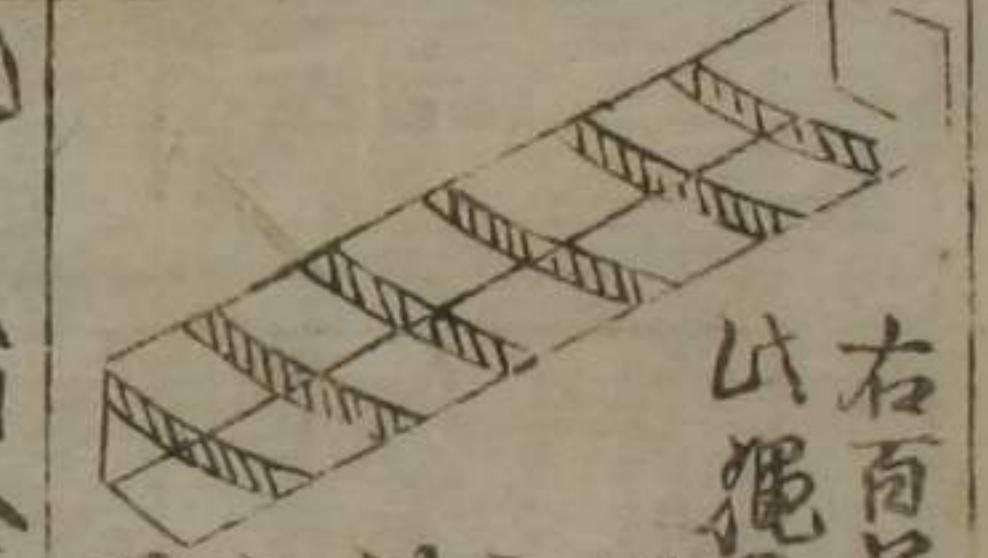
以向東賞之矣

今にす猪手百石
ニす猪手ありて
財布にすかにすと
何やどそと云ニす猪
二千六百六十石
充之と云先に貯を元
右手魚かく合六十二
あるも亦四十石ま



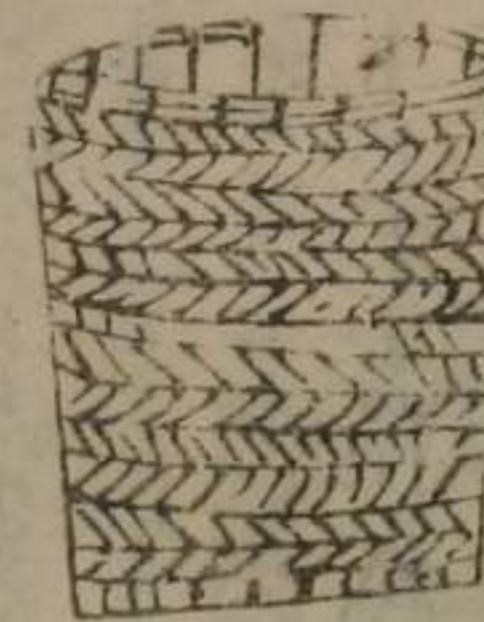
金匱要略 卷之二十一
右四乃火熟六月有令
偶乃火之月 着八丈火

周率二

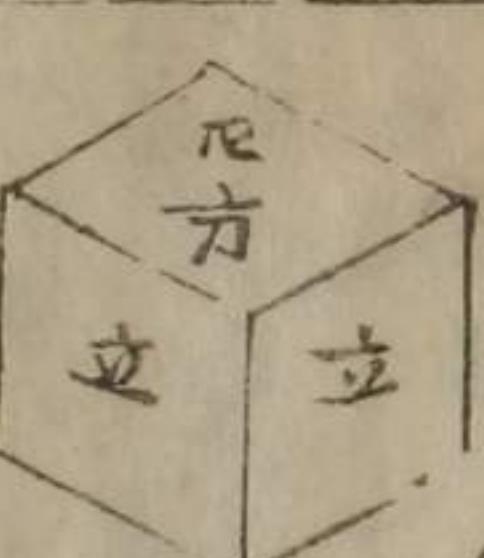


之ぢかれてぬ弓繩ぢやうり抜又をす
のヒサとて
御七す角に信メ武ス八甘根四百九
委九人一す自參メ手又面ニ穀六糸六
引ヨシ万ヘ六アキタメキミハ人自參メ
ニ首九に半右ヘ六ヘ今ト年八百六十多金谷
ニタとある屏平法ヨ除々繩の裏を治
間ニ弓軍有ヒミテ武吉來ヒ八十九を九
日ひメ熟六どり今
ヒ乃也と
卷八丈武エヘニ九二七
御車四人守森ヒハシメ加ヘ面ノ根六四下
帝一周直くこと奉ヒヤ木ハユノ、ホノニミニ百
令ハモガヒ、シテマサヘ墨宣五、六を參ヒメモ
一ノ自參ニ而四十、一ホヒのニ千三百令ハ墨
加ヘモニ而四十、一ホヒのニ千三百令ハ墨

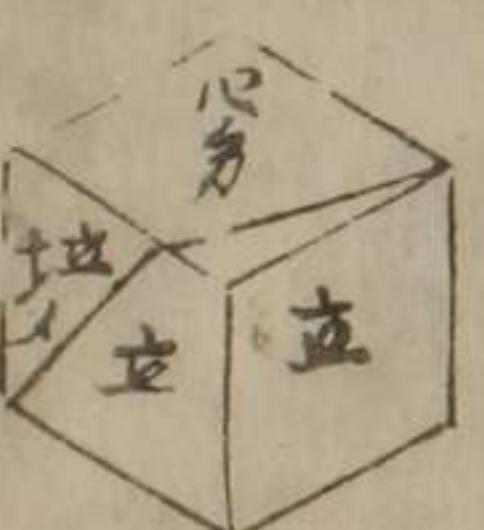
四年六月上旬一尺八寸下
右一木に繩を巻つてあるもの 繩の先
但緒乃太廿八分四厘 沢上



立規開革法



立 方 あり
立 猥 比 指 武 比 め合 六
立 又 す ひ ち き ソ 方 と 宮 君 方 こ 可 六 方
仰 立 猥 比 立 又 す ひ か く 猥 比 武 比 あ 六 合 六
又 そ 方 メ 方 こ 可 六 ひ け



立斜玄天守九八余
主方廻之官 義一人守六面
御立斜自余六百七十五也九六令之
有之而後之也自玄天守九八而加
之而二首成之亦冥主守陰之主也之

文
加

四

七

卷之三

卷之三

とあぐ
右はうまくいふうめ

百人之多

子時明治三年

石井久之

九牛舍元棟